

研究主題 「一人一人を大切にし、信頼関係に立つ教育の推進」

行田市立下忍小学校

1 教師と児童生徒の信頼関係を築くために、あるいは、いじめ・暴力行為・不登校等の生徒指導上の課題を解決するために、小・中連携（小中一貫）をとおして具体的にどのような取組をしているか。

1 本校のめざす生徒指導

| 学校教育目標 |
|------------------|
| よく考え、学習する子（かしこく） |
| 仲良く活動する子（やさしく） |
| 健康でがんばる子（たくましく） |



| 生徒指導目標 |
|---------------------------------------|
| ○学校生活が有意義で、充実したものになるようにする。 |
| ○全教育活動を通して、児童一人一人の特性と能力を生かし、伸ばすようにする。 |
| ○基本行動を身につけ、個人、集団として充実した学校生活を送れるようにする。 |

| 推進活動3つの柱 |
|--------------|
| 場を浄め（無言清掃） |
| 時を守り（3分前行動） |
| 礼を正す（オアシス運動） |



2 実践活動

(1) 本校の生徒指導上の課題と解決に向けて

本校は、全校児童108名という小規模校である。児童は、明るく素直で全校児童が仲良く生活している。これは、学校・家庭・地域が積極的に連携し、地域に根ざした学校であると言える。さらに、「美しい学校」「時間を守る学校」等、基本的な生活習慣も身につけてきている。生徒指導においては、小規模の良さを生かし、全職員の共通理解・共通行動を念頭に置いて指導に当たっている。また、児童の問題行動の早期発見・早期対応に配慮し、日々の生活の中で、児童を多くの職員が目で見守りながら、児童の自主性・自発性を尊重した活動を進めている。

課題としては、「元気なあいさつ」「積極的な校内指導体制の確立」「家庭の教育力の格差」などがあげられる。そこで、これらの課題に対し、生徒指導主任・委員会を中心に学校として、次のように取り組んでいる。

(2) 平成25年度 本校の課題に向けた具体的な取組

① 下忍小オアシス運動

| | |
|----------|---------------------------|
| オ | 元気に相手の顔を見て 「おはようございます」 |
| ア | 感謝の心で 「ありがとうございます」 |
| シ | 部屋に入る時はノックをして 「失礼します」 |
| ス | 素直に言おう 「すみませんでした」 |

- 学期はじめの「あいさつ運動」強化月間
下忍小の組織全体（学校・家庭・地域）で「あいさつ運動」に取り組む。
- 各学級での毎日の指導
朝の会の時に「オアシス運動」を唱え、あいさつについての指導をする。
- 一斉下校時の指導
毎日行われる一斉下校で、安全指導と共にあいさつに関する指導を繰り返す。

- 毎朝のあいさつ運動
5・6年生を中心に、昇降口で「あいさつ運動」を実施する。
- 地域・家庭との連携協力
各家庭に「オアシス運動」マグネットを配布し目に見えるところに貼って頂き、下忍地区全体の意識化を図る。



5・6年生
あいさつ
運動
(4月)

②無言清掃

- 全校が日々の清掃活動に対し、一つの目標に向かってまじめにやる。職員間でぶれないことが信頼関係を築くもとである。よい学校は掃除が落ち着いてできるものであると信ずる。

(3) 積極的な校内指導体制の確立

- 早期発見、早期解決に向けての組織作り及び教職員間の情報交換等さらなる連携
 - ・「友達アンケート」を実施し、必要に応じ保護者との連携を図ることを忘れない。
 - ・報告、連絡、相談をクラスだけの問題とせず、学校として取り組む姿勢が大切である。まず、教師間の「ぶれ」を無くすこと。そのためには、学校のきまり・情報交換や共通理解をする時間を確保していくことが基本となる。
- 「無言清掃」を全校の合い言葉として、校長自ら清掃に取り組む姿勢を示す。
- 授業、クラブ活動、委員会活動、その他における職員間の情報交換
- 生徒指導に関する校内研修の実施
 - ・諸機関との連携、県関係資料、出張報告資料、各学年からの情報交換等
- 非行防止教室の実施（警察署の職員を迎え、話を聞く・各クラスでも指導）
- 長期休業前の重点的な指導（わかりやすい言葉での生活指導）
- 校内生徒指導委員会の実施（月1回第4金曜日、問題行動等を全職員で話し合う）
- ふれあい活動の重視
 - ・ふれあいタイム…縦割り班による活動
 - ・全校「あじさいタイム」…総合的な学習の時間での体験活動
 - ・各種集会の企画…集会委員会を中心となつての活動
 - ・米作り体験…5・6年生による田植え、稲刈りの体験
 - ・公民館事業への参加…いもほり体験、寺子屋教室など
 - ・福祉体験…地域の高齢者とのふれあい、菊作り
盲導犬とのふれあい



田植え（5・6年）



菊作り（4年）



全校徒歩遠足



昔の遊び体験（1・2年）

(4) 小学校・中学校の連携

- 運動会での用具係のお手伝いと種目参加
- ラグビーチームでの活動（練習や試合）
- 中学校教諭の授業参加や小学校教諭の中学校の授業見学
- 中学校見学（行田中学校の概要説明と授業見学）
- 小中連絡協議会

7月に授業参観、3月に卒業児童についての情報交換)



運動会「ようこそ先輩」

3 成果と課題

児童一人一人を全職員が知っているという小規模校としてのメリットを生かしながら、全職員の理解と協力のもとに日々、様々な場面で実践してきている。児童は、たくさん活動を通して、よりよい人間関係を築きつつある。しかし、まだ十分とはいえない面もある。これからは、下記のことを課題として、より努力をし積極的な生徒指導の推進にあたりたいと考える。

*保護者への啓発をさらに工夫し、規範意識の高揚を図る。

*教育相談の充実・人権意識の高揚等における教職員の資質の向上を図る。